



パーソン・センタード・ケアを基盤とした 認知症の人への 【ケア&リハビリテーション】 8つの具体策



※講義時間:約4時間

認知症があっても「生きがい」「人間らしさ」「笑顔」を追求しQOLに結びつけるリハビリアプローチを!

リハビリ専門のセラピストのみならず、多職種によるチームケアとして展開する認知症の人へのケアやリハビリの3つの要点を学びます。

- ① 行動背景(ナラティブ)を理解したリハビリアプローチの重要性
- ② 日頃のケアで実践する残存機能を生かしたリハビリプログラムの具体策
- ③ 生活障害改善を目的としたチームによるケア・リハビリの工夫例

松下 太氏

森ノ宮医療大学 保健医療学部
作業療法学科 教授
認知症専門作業療法士/医学博士

録画配信

[視聴期間]

オンライン

約2週間 22年12/23(金)から
視聴可能になります。

※申込締切:23年2/17(金)

参加料
税込

一般 12,000円 会員 9,000円

※講義時間約4時間の録画配信セミナーです。
※PC/タブレット/スマートフォンなどインターネット環境が必要です。

プログラム

1. パーソン・センタード・ケアを基盤としたリハビリテーションとは?
—「その人らしさ」を重視し心理的安定を目的としたリハビリテーション
2. 認知症の人に対する4つの視点からのケアとリハビリアプローチ
—「認知」「刺激」「行動」「感情」に焦点を当てた非薬物療法
3. 認知機能の回復を目的とした「認知リハビリ」
—「誤りなし学習」によるリハビリの効果的な進め方
4. 認知症の人の生活行為に対するケアとリハビリアプローチ
—ICFから生活障害を捉え介入するケアとリハビリテーション
5. 認知症の人の行為を引き出す「手続き記憶」を用いたアプローチ
—脳機能の視点から手がかりの提示や環境の調整を工夫する具体例
6. 認知症の人の個別プログラム策定の際の留意点
—その人の「ナラティブ」の理解と「真のニーズ」の明確化
7. 重度認知症の人への五感を刺激するケアとリハビリテーション
—「感覚刺激」に働きかけるアプローチの具体例
8. 認知症があっても「その人らしさ」を取り戻すケアとリハビリテーション
—笑顔を引き出し「人間らしく生きる権利の回復」を!

このセミナーはホームページからのみの受け付けとなります ▶ 日総研 170380

関連雑誌

Web教材+季刊誌(定期刊行物・会員制)

個別ケア実現への具体策

認知症ケア

B5判 112頁
入会金 3,000円
年間購読料
13,620円(共に税込)

秋号以降の特集

- 介護現場のいわゆる“困ったスタッフ”とのかかわり方[秋号]
- 認知症の人の誤嚥性肺炎予防と摂食嚥下機能の改善[秋号]
- 介護現場でのメンタルヘルスケア[秋号]
- 認知症の人の意思を尊重した看取りケア実践[冬号]
- 高齢者のスキン・ケア(皮膚裂傷)予防と日常ケア[冬号]
- Z世代の強みを活かす! 若手スタッフの人材育成[冬号]

あなたのキャリアを
アップさせる介護の
最新情報を

Twitter #日総研



学費の最大70%が給付される
専門実践教育訓練給付金指定講座

厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所

社会福祉士養成所 通信課程

日総研 社会福祉士

お問合せ

TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研